

機械事業本部

排ガス規制対応エンジン (V3300)

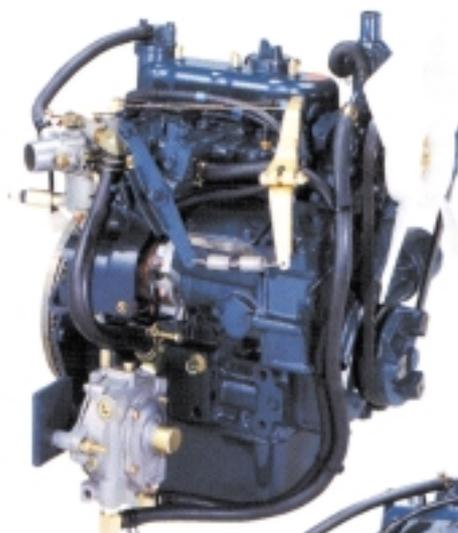
世界的にオフロード排ガス規制が厳しくなっています。クボタでは、規制前から排ガス計測設備の増強、クリーンエンジンの開発を行うとともに、生産・サービス体制の確立にも鋭意取り組んできました。

最新型V3300DI(T)エンジンでは、排ガスクリーン化の基本となる燃焼性能向上と同時に、他社に先駆けてピークトルク外部調整式燃料噴射ポンプユニットを新開発しました。国土交通省・米国EPA・欧州EC排ガス規制をすべてクリアし、環境保全に貢献します。



デュアルフューエルエンジン (ガソリン・LPガス) DF752・1005

米国では屋内と屋外を行き来する高所作業車にデュアルフューエルエンジンを採用し、屋内ではLPG(排ガスがクリーン)、屋外ではガソリン(燃料費が安い)と2種類の燃料を切替えて使用しています。そのエンジンにも今年からインユース規制の付いた第2次排ガス規制がスタートし、一段と厳しくなっています。クボタは特別なキャブレタと燃焼室などの変更により燃焼改善を行い、厳しい規制をクリアしてさらに人と環境に優しいエンジンを実現しました。また、従来の排気量0.74ℓに加え上位の1ℓクラスも開発しました。



DF752



DF1005

紙パック自販機 (2001年度モデル)

飲料自動販売機は昼夜を問わず常に運転し続けており、今や国民生活に欠かせないものです。一方、全国で稼働している飲料自動販売機全体の年間消費電力量は約80億kWhと、原発1基分の約80%に相当します。

このような中で、クボタは積極的に省エネに取り組み、冷却システムの改善や高効率DCモータの採用等により業界トップ水準の14%の省エネ(当社比)を実現するとともに、全型式の冷媒を、オゾン層を破壊しないHFCに切替え完了しました。



畦畔草刈り機 (GC-700)

暑い時期の重労働である水田畦畔の草刈りを高能率に行い省力化を実現するため、畦畔の上面(300mm)と法面(400mm)の2面を同時に刈取作業が行えるのが畦畔草刈り機です。

様々な形状の畦畔や一般農道の草刈りが容易に行えるので、圃場周辺におけるカメムシ等の害虫の巣となる原因が取り除かれ、作物の健全化による収量の安定につながります。同時に水田地帯の景観の維持管理に寄与でき、除草剤の利用も低減できるため環境への負荷が少なくなり環境保全にも役立つ機械と言えます。



バイオオイル(バイオグリーングラス)

油圧作動油「バイオグリーングラス」は地球環境保護を目的に開発された生分解性に優れたオイルであり、グリーン機械、建設機械が万一事故を起こし、それに使用されているオイルが土壌、公園・グラウンドの芝生、河川等に流出した場合でも、新たな環境汚染を防止する特質を有しています。しかも農業機械用高性能潤滑油の開発で蓄積した添加剤配合技術を駆使し、油圧作動油の基本性能に生分解性を付加し、万一芝圃場に油が流出しても「芝を枯らさない」クボタ独自の界面活性剤技術を取り入れた世界初の油圧作動油です。また本製品はクボタで初めてのエコマーク商品として(財)日本環境協会から認定されています。

